

目次

1. 第4回マスターズ例会のご案内
2. 今秋から「広大マスターズ市民講座」を開始します。
3. 東広島市立東志和小学校から樹木と岩石の調査依頼がありました。
4. 沖村雄二氏調査「ホボロ島が生物浸食作用で消えて行く」

1. 第4回マスターズ例会のご案内

連日記録更新の炎熱の夏が過ぎて、朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。マスターズ会員の皆さま、見事に夏をのりきられたことを願っております。

さて、第4回例会として会員の皆さまおなじみの広島空港とその周辺地域を視察する会を、実施します。広島空港は中国地方随一の空港であり、今後広島の空の玄関としてますますその重要性を高めてゆくことになりましょう。

今回の企画は、広大マスターズのために、特に広島空港ビル及び関連会社のご協力を得て実現されるもので、通常一般には開放されていない管制塔等の視察も予定されております。

会員の皆さまのふるってのご参加を期待しております。ご家族、ご友人の同伴も歓迎いたします。

参加希望者は、準備の都合がありますので、9月14日(金)までに事務局宛にメールまたはFAX、あるいはハガキでご返信ください。実施要領は、以下の通りです。

- 1 名称： 広島大学マスターズ第4回例会(広島空港および周辺地域視察会)
- 2 日時： 9月21日(金)13:30～16:15
- 3 場所： 広島空港及び周辺地域にある庭園、ホテル、ゴルフ場等
- 4 集合場所： 空港ビル2F国内線出発ロビー(全日空:ANA 搭乗受付カウンター付近)
(13時30分までにご集合ください。空港ビル職員が案内にまいります。)
なお、空港まではJR白市駅 - 空港行きのシャトルバスご利用が標準的ですが、もし前もってご一報いただければ、乗用車の乗り合わせなどを考えています。
- 5 当日のプログラム
広島空港建設の軌跡と今後の展望:13:30～14:00 空港ビル会議室(3F)
(広島エアポートビレッジ開発 社長 大西利武:説明)
空港施設案内:14:00～14:45(空港送迎デッキ、管制塔など)
(広島エアポートビレッジ開発 社長 大西利武:案内)
(国土交通省広島空港事務所)
周辺施設案内:14:45～15:30
(広島エアポートビレッジ開発 社長 大西利武、公園協会職員:案内)
エアポートホテル
フォレストヒルズガーデン
(ゴルフ場)
中央森林公園・三景園
三景園・潮見亭 15:30～16:00
抹茶セット・休憩・懇談
解散 16:15(空港ビル前)
- 6 所用経費： 650円(三景園入園料、抹茶セット)

2. 今秋から「広大マスターズ市民講座」を開始します。

広大マスターズは、設立当初から、東広島市の生涯学習事業に全面的に協力することを謳っており、そのために、特に平成19年度には東広島市から総額70万円の予算が組まれています。

生涯学習事業としては、地域起こし、まち起こしや文化による諸種の活性化など、さまざまな活動が期待され、私たちも安芸津町大芝島や河内町宇山など地区の長老や指導者等との活性化の意見交換なども重ねているところです。

その中で、今年度は市民に向けての文化講座の立ち上げを行いました。私たちの行う文化講座は、出前講座(市民からの応募があって成立する1回かぎりのボランティア講座)、公民館などの主催講座への委嘱講師、マスターズの独自企画の講座があり、第3の講座を、私たちは「広大マスターズ市民講座」と命名しました。

今年度は、以下のとおり、二つの講座を用意しました。2種の講座を交互に入れ子型にはめこみました。それぞれ独立していますが、両方を受講することもできます。

なお、この市民講座は、今後一層充実させてゆきたいと考えています。今回は、健康と自然の方面での企画ですが、社会、自然、文化、情報など、マスターズの会員の専門分野の広がりを示す企画をしたいと思っています。ご協力をお願いします。

今回の両企画は、会員にとっても関心のあるところと思います。

会員の方も、友人知人お誘いの上、奮ってご聴講ください。できればアシスタントとして参加してください。

- 1 広島大学マスターズ市民講座
- 2 期間： 10月20日から12月15日
- 3 時間： 各回90分(14:00~15:30、質疑時間30分を含む)
- 4 会場： 市民文化センター研修室(サンスクエア東広島2F)
739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島内
- 5 主催： 広島大学マスターズ及び東広島市教育委員会(共催)
- 6 講座内容：

講座1：熟年世代の健康と食べ物

- 第1回 10月20日(土) 14:00~15:30 研修室2
熟年世代の健康 角谷哲司(元広大医学部)
- 第2回 11月10日(土) 14:00~15:30 研修室2
機能性食品の科学 太田安英(元広大生物圏科学研究科)
- 第3回 11月24日(土) 14:00~15:30 研修室2
過去の食中毒事件から学ぶこと 川上英之(元広大生物圏科学研究科)
- 第4回 12月08日(土) 14:00~15:30 研修室2
熟年世代の健康と運動 西村清巳(元広大教育学部)

講座2：広島魚文化

- 第1回 10月27日(土) 14:00~15:30 研修室2
広島のアユ 海野徹也(広大生物圏科学研究科)
- 第2回 11月17日(土) 14:00~15:30 研修室1
魚と貝の神経 宗岡洋二郎(元広大総合科学部)
- 第3回 12月01日(土) 14:00~15:30 研修室2
ナマズの話 宗岡洋二郎(元広大総合科学部)
- 第4回 12月15日(土) 14:00~15:30 研修室2
広島釣と魚の話 海野徹也(広大生物圏科学研究科)(敬称略)

3. 東広島市立東志和小学校から樹木と岩石の調査依頼がありました。

去る8月2日、東広島市立東志和小学校校長の品川美保子先生から、「校庭にある樹木や岩石園の岩石の名前がはっきりしないものが多いので、樹木や岩石の名前を明確にし、学習環境を整えたい」と広大マスターズへ協力依頼がありました。志和堀にお住まいの宗岡洋二郎マスターズ会員から本会を紹介されたそうです。

マスターズ幹事会では「この依頼はマスターズとしてふさわしい仕事なので、積極的に対応すべし」と判断し、現地を見た上で事業案を提案することになりました。

8月17日朝、品川先生に現地を約1時間半案内していただき、今後の作業について相談しました。「岩石園」は構内西隅の約100平米の土地で、中央に生徒用の花壇があり、30個ほどの岩石が周囲の垣根沿いに並べてありました。その多くが直径20-30cmの花崗岩などの円礫で、河原から持ち込んだものと思われます。樹木はタイワンフウなど約30種が校庭の周囲などに植栽されていました。名札はついていないものが多いのですが、大部分はすでに同定されています。

品川先生は、今春呉市から東志和小学校の校長として赴任され、この小学校の環境の良さに感動し、環境教育に力を入れたいと張り切っておられます。広大マスターズとしては、関係会員の協力を得て、生徒たちに親しまれ、環境教育の場として活用できる事業案をまとめたいと考えています。

会員の活動紹介

4. 「ホボロ島が生物浸食作用で消えて行く」

沖村雄二氏（地質学、古生物学）は、「東広島市の自然誌」の刊行に向けて努力されています。一方で、長く東広島市を拠点に、自然研究会会長として、小中高生を含めて、市民とともに現地調査をされ、自然研究の啓蒙と普及の努力をされてきました。

今回、その活動の一環として、東広島市安芸津町赤碕の沖にある小さな島、ホボロ島の調査を市民と伴に行い、この島が生物侵食作用のために消失して行く実態を明らかにしました。

以下は、日本地質学会 News 10(6) 2007、に掲載された記事の引用です。なお写真は、同誌の表紙を飾ったものです。

「ホボロ島は、ここ数十年の間に見る見る小さくなった。大正時代には、長径が120mあった島が、現在は高潮位時には8m足らずである。会員の沖村雄二(元理学部)氏らの地質調査の結果、ホボロ島を構成しているデイサイト溶結結晶凝灰岩が“ダンゴムシ”のような[ナナツバコツブムシ]による穿孔を受けて岩石が風化する[生物浸食]が原因であると報告している。」



酒まつりに広大マスターズ懇親会を企画しています。

来る 10 月 13 日（土） 14 日（日）は、西条地区では恒例の酒まつりが開催され、JR 西条駅前から酒蔵通りの一帯は、毎年 20 万人以上の人出で賑わいます。

広大マスターズは 13 日（土）午後、料亭「福まさ」で美酒鍋をつつきながら、会員の親睦をはかる懇親会を企画しています。

詳細は、次号でお知らせします。日程は決まっていますので、おつかいの手帳やカレンダーに、その日の上にしるしをつけておいてください。

なお、広大マスターズへのお問合せ等は、下記宛にしてください。

事務局：739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3 F

広島大学サテライトオフィス内

広島大学マスターズ事務局

TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981

（事務局には担当者不在の場合が多いため、TEL はできる限り避けて、FAX をご利用ください。）

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>